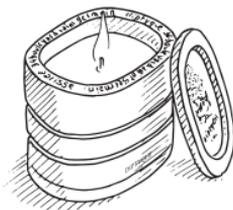


# Les Mondes de Diptyque



リフィラブル フレグランスキャンドル

DIPTYQUE  
PARIS

# LES MONDES DE DIPTYQUE

## レモンドゥ ディプティック

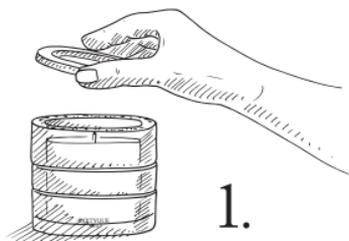
この度は、Diptyqueのリフィラブル フレグランスキャンドルをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。このキャンドルに関する特別なリチュアルをはじめ、キャンドルを最適な条件でお楽しみいただくために、ご使用の前に次の使用方法と注意事項をご確認ください。

*Les Mondes de Diptyque*は他にはない新しいスタイルのフレグランスキャンドルコレクションです。それは、自然と文化が融合し、魅惑的な香りと不思議な世界が織り成す物語です。*Les Mondes de Diptyque*のキャンドルを灯せば、時が止まったようなひとときと、まだ訪れたことのない見知らぬ世界の旅へと私たちを誘います。

# LES MONDES DE DIPTYQUE

## レモンドゥ ディプティック

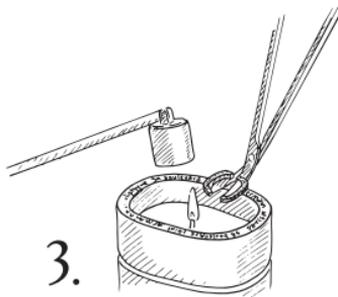
Les Mondes de Diptyqueコレクションのユニークなりチュアルへと皆様を誘います。



ガラス製リッドをキャンドルスタンドとしてキャンドルの下に置くと、フレグランスワックスのブロックが現れ、香りの旅が始まります。



キャンドルと同じ香りのフレグランスマッチを擦ることが旅の始まりの合図です。



どうぞ香りの旅をお楽しみください。そして旅の終わりには、スナッファーで炎を消し、また芯からの煙を防ぎ、燃焼の質を維持するためにウィックトリマーをご使用ください。

# 使用方法と注意事項

Les Mondes de Diptyqueコレクションのそれぞれのキャンドルは、フランスのキャンドル職人のサヴォアフェール(職人技)から誕生した類まれな製品で、特別な注意が必要です。

## キャンドルの使用方法

フレグランスキャンドルの安全性、品質、持続性を保証するために、以下の使用上の注意をお守りください。

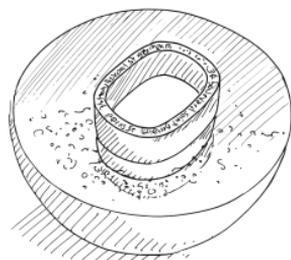
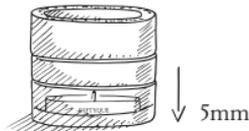
- キャンドルの下に付属のキャンドルリッドを置きます。こうすることで、キャンドルを置く表面を保護することができます。
- 最初の二回目までは、ワックスの表面が全体にわたって液状になるまで、キャンドルを約5時間燃焼してください。そうすることで、その後芯の周りのワックスに窪みができにくくなります。
- 火をつけた際、炎の熱によってワックスが芯に浸透するまで少々煙が出る場合があります。
- キャンドルを消す場合は、溶けたワックスが飛び散るのを防ぐために、スナッフアーのご使用をお勧めいたします。
- キャンドルがむらなく燃えるように。
  - キャンドルを消し、ワックスがまだ液状のうちに、ウィックトリマーを使用してキャンドルの芯を必ず中心の位置に戻します。
  - キャンドルから煙が出たり、過熱したりしないように、ウィックトリマーを用いて定期的芯をカットしてください(長さ3~5ミリが最適)。
- 煤(すす)がついた場合は、キャンドルが完全に冷めてから、水を含ませた布でキャンドルの容器の側面を丁寧に拭いてください。
- キャンドルを灯していない場合は、キャンドルの上にキャンドルリッドをかぶせてワックスを保護してください。
- ワックスが残り5mmになり、金属芯が見える場合は、キャンドルに火を灯さないでください。
- キャンドルを灯している間は、決してその場から離れないようにしてください。
- キャンドルに火を灯した状態で、風通しの良い場所や、デリケートな素材の上に置かないでください。
- キャンドルに火が灯っている状態、またはワックスがまだ液状で固まっていない場合には、キャンドルを決して移動させないでください。
- お子様やペット、カーテンから十分に離してご使用ください。
- キャンドルに火を灯した後は、室内の換気をお勧めします。

Les Mondes de Diptyqueのキャンドルは、リフィルを入れ替えて何度も繰り返しご使用いただけるようにデザインされたサステナブルなラグジュアリーオブジェです。環境に配慮したシリーズのリフィルを簡単に詰め替えてお楽しみいただけます。

キャンドルのガラス容器の汚れを落として詰め替えるために、次のステップに従ってください。

## キャンドルのガラス容器の汚れを落とす

1. ワックスが残り5mmになり、金属芯が見える状態になったら、キャンドルの使用をお止めください。

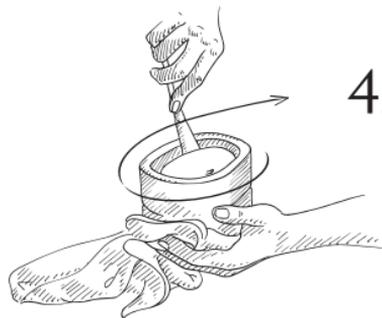


2. ワックスが固まるようにキャンドルが完全に冷めるまでそのままにします。

シンクに空の耐熱性ボウルを置きます。

ボウルの中にキャンドルを入れ、キャンドルのガラス容器の半分くらいの水位になるまで、60°Cのぬるま湯をボウルに注ぎます。キャンドルのガラス容器内にぬるま湯が入らないように注意します。

3. 2分ほどそのままの状態にし、ガラス容器側面のぬるま湯の熱で容器の隅のワックスが溶けて、ワックスブロックが取り出しやすくなります。やけどをしないように、ガラス容器上部の端を持ってボウルの中から取り出します。



4. 先端が丸いナイフの刃をガラス容器と柔らかくなったワックスブロックの間に差し込んで、次にワックスブロックの下にナイフを入れます。こうして容器から外れたワックスブロックを持ち上げながら取り出して、ゴミ箱に捨てます。

研磨剤を含まないスポンジまたは食器洗浄機を使用してガラス容器を洗います。容器が十分に乾いたことを確認したら、ガラス容器にリフィルを詰め替える準備が整います。

## キャンドルを詰め替える

5. ケースからリフィルを取り出します。上部両サイドのタブを引いて、インナースリーブを剥がし、丁寧にワックスのブロックを取り出します。



6. ワックスのブロックをガラス容器に入れます。その際ワックスのブロックとキャンドル容器内側の方に若干隙間が発生しますが、問題ございません。

これでキャンドルをお使いいただける準備が整いました。





34 bd st germain 75005 paris  
[diptyqueparis.com](http://diptyqueparis.com)